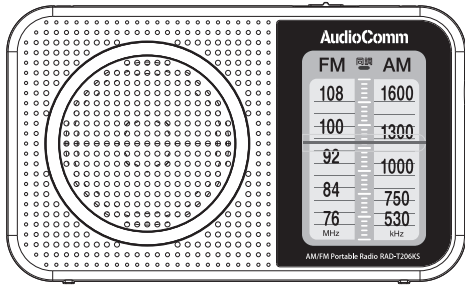


AudioComm®

AM/FM ポータブルラジオ RAD-T206KS



本製品には周波数表示パネルに保護シールが付いていますので、剥がしてから使用してください。

取扱説明書

AudioComm AM/FMポータブルラジオをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
正しく安全にご使用いただくため、ご使用の前に「取扱説明書」をよくお読みください。
お読みになった後は、いつでも見られる所に必ず保管してください。

安全にお使いいただくために

電気製品は正しく取り扱うことによって、安全にお使いいただけます。間違った使い方は火災や感電による人身事故につながることがあります。ご使用前に取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。

警告

「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。

- 付属の専用電源コード使用時は、AC100V以外の電圧で使用しない(日本国内専用)。火災、けがの原因となります。
- 付属の専用電源コードのプラグは、ぬれた手で抜き差しをしない。感電の原因となります。
- 付属の専用電源コードでご使用の際は、コードを傷つけたり、引っ張ったり、コードの上に重いものをのせたりしない。火災、感電の原因となります。
- 絶対に本体の分解、改造、修理を行わない。火災、感電、けがの原因となります。
- 屋外使用中に雷が鳴り出したら、すぐに使用を中止する。落雷の原因となります。

注意

「損害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。

- 水のかかる場所、湿気やほこりの多い所、油煙や湯気のあたる所には置かない。故障の原因となります。
- 狭い場所や壁に押し付けるなど通気が妨げられる所に置かない。故障及び火災の原因となります。

主な仕様

受信周波数	AM 530—1605 kHz	FM 76—108 MHz
電源	AC100V 50/60Hz DC3V、単1形乾電池×2本(別売)	
電池持続時間	イヤホン使用時：FM 約250時間 AM 約250時間 スピーカー使用時：FM 約150時間 AM 約150時間 <small>(アルカリ乾電池新品使用 JEITA(電子情報技術産業協会)規格による測定値です。)</small>	
外形寸法	(約)幅200×高さ120×奥行55mm(突起物含まず)	
質量	約500g(乾電池含まず)	
付属品	専用電源コード(約1.5m)、取扱説明書、保証書	

※仕様及び外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

OHM 株式会社 オーム電機
〒342-8502 埼玉県吉川市旭3-8
<https://www.ohm-electric.co.jp>

製品に関するお問い合わせは お客様相談室へ

●通話料無料 ●携帯・IP・公衆電話からは

0120-963-006 048-992-2735

電話受付 平日 9:00~17:00
※土曜・日曜・祝日及び年末年始は除きます

修理に関するご相談は 修理ご相談センターへ

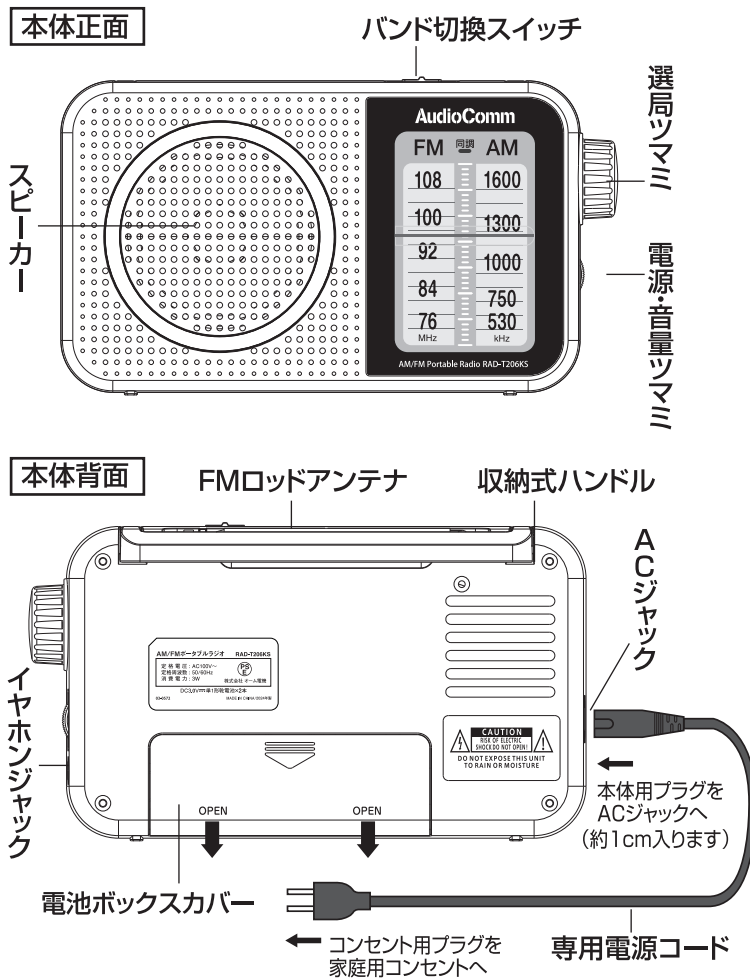
電話受付 048-992-3970 平日 9:00~17:00
※土曜・日曜・祝日及び年末年始は除きます

- 窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる所、暖房器具のそばなど、異常に高温になる所に置かない。故障及び火災の原因となります。
- 本機に新聞紙、テーブルクロス、カーテンなどをかけて通気口をふさがない。故障及び火災の原因となります。
- 本機の上に例えば火のついたロウソクのような、火を使ったものを置かない。故障及び火災の原因となります。
- 本機の上に例えば水を入れたコップのようなものを置かない。水がこぼれて故障の原因となります。
- 指定以外の電池は使用しない。新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない。種類の異なる電池(例：アルカリとマンガン)をいっしょに使用しない。電池の破裂、液もれにより火災、けが、周囲汚損の原因となります。
- 電池は、プラス⊕とマイナス⊖の表示どおりに入れる。電池の破裂、液もれにより火災、けが、周囲汚損の原因となります。
- 電池は直射日光、火などの過度の熱にさらさない。電池の破裂により、火災、けが、周囲汚損の原因となります。
- 市販のイヤホン使用時、耳を刺激する大音量で聞かない。聴力障害などの原因となります。

※電池を廃棄する際は、地方自治体の条例または規則に従ってください。

※本機は容易に手の届くような電源コンセントで使用し、異常が発生した場合は、速やかに電源プラグをコンセントから抜いてください。本機の電源スイッチを切っただけでは完全に電源から切り離すことはできません。

各部の名称



※付属の専用電源コードは本製品専用です。

本製品をご使用の際には必ず付属の電源コードをお使いください。

また、付属の電源コードは他の製品に使用しないでください。製品の破損、もしくは火傷、発煙、火災の原因となる場合があります。

ラジオの使い方

- ① 電源・音量ツマミを上方向に回すと、カチッと音がして電源が入ります。
- ② 電源・音量ツマミで音量を調節します。
- ③ バンド切換スイッチで、「AM」、「FM」の選択をします。
- ④ 選局ツマミを回してお聴きになる放送局に合わせます。
- ⑤ ご使用を終える時は、電源・音量ツマミを下方向にカチッと音がするまで回すと電源が切れます。

※本機はFM周波数帯域が76~108MHzまでであるため、ワイドFM(FM補完放送)に対応しています。ワイドFM(FM補完放送)とは、AM放送局の放送区域において難聴対策や災害対策のためにFMの90.1~94.9MHz周波数帯域を用いて補完的にAM番組を放送することです。ワイドFM(FM補完放送)の開始時期、放送局、使用周波数、聴取可能エリアなどは地域により異なります。詳細は各地域のラジオ局ホームページなどをご覧ください。

受信について

■AM放送を聞くとき

本体を放送が一番良く受信できる方向に向けてください。

■FM放送を聞くとき

FMロッドアンテナを伸ばして、本体を放送が一番良く受信できる方向に向けてください。

■音声について

- ・本機はモノラル受信機です、ステレオ音声にはなりません。
- ・本機はTV放送は受信できません。

電池でご使用の場合

- ① 本体背面の電池ボックスカバーを、押し下げて開きます(上図参照)。
- ② 電池ボックスに単1形乾電池2本(別売)を入れます。電池ボックス内に表示されているプラス⊕、マイナス⊖の極性どおりに正しく入れてください。
- ③ 電池ボックスカバーを①と逆の手順で閉めます。

アルカリ乾電池のご使用をお勧めします。マンガン乾電池、充電式電池では使用可能時間が短くなります。

長期間使用しないとき

本機を長期間ご使用にならないときは、電池の液もれを防ぐために電池を取り出してください。

家庭用コンセントでご使用の場合

- ① 付属の専用電源コードの本体用プラグを本体ACジャックにしっかり差し込むと自動的に電源が乾電池からAC電源に切り替わります。
※差し込みが不十分な場合、電池の液漏れが生じるおそれがあります。
- ② 付属の専用電源コードのコンセント用プラグを家庭用コンセントへ根元まで確実に差し込みます(上図参照)。

△ご注意

※付属の専用電源コードのプラグを抜くときは、必ずコードではなくプラグ本体を持って行ってください。コードが破損し、火災、感電の原因になります。

市販のイヤホンのご使用について

イヤホンジャックにイヤホンのプラグ(φ3.5mm)を接続してご使用ください(接続時は音量を下げて、耳に負担のない音量に徐々にあげてください)。

※イヤホン使用時はスピーカーから音は鳴りません。

△ご注意

本機のイヤホンにはステレオイヤホンを使用してください。モノラルイヤホンを使用すると故障するおそれがあります。

本体のお手入れのしかた

やわらかな布で乾拭きしてください。汚れがひどい場合は、薄めた中性洗剤や石けん水に浸した布を固く絞って拭き取り、やわらかな乾いた布で仕上げてください。

なお、シンナー、ベンジン等の揮発性のもので拭いたりしないでください。変色・変形、または破損の原因になります。

故障かな?と思ったら 下表を参考に点検してください。

現象	点検方法
音が出ない	・音量が最小になっていないか確認。 ・乾電池でご使用の場合、乾電池の残量を確認。(残量がない場合は電池を交換) ・イヤホン端子にイヤホンプラグを接続していないことを確認。
雑音が入る	・携帯電話、テレビ、蛍光灯の近くで使用していないことを確認。